



発行元：特定非営利活動法人すくすく子育てやぎハウス
〒325-0074 栃木県那須塩原市松浦町121番地42
TEL/FAX：0287-74-2988
E-Mail：yagihaisu@rb4.so-net.ne.jp
WEB：http://www002.upp.so-net.ne.jp/yagihaisu/

あいさつ

日頃、やぎハウスに対し、ご支援・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。
新型コロナ騒ぎの対応で落ちつかず、2020年もいつの間にか半年が過ぎてしま
いましたが、皆様はいかがお過ごしですか？

やぎハウスにおきましても感染防止の観点から、子どもたちには4月・5月の大
部分を自宅で過ごしていただきました。いつも居場所に来ると大はしゃぎで「ス
タッフに抱きついたり、背中に飛び乗ったり」とスキンシップが大好きな子どもた
ちなので、密を避けるためのやむを得ない対応でした。

その代わりスタッフが手作り弁当をこしらえ、夕飯に間に合うように子どもたち
の家に届け、様子を見守るようにしてきました。

6月からは居場所の消毒や間隔をあけるなどの感染防止策に努めながら、子ども
たちと過ごすことができるようになりました。

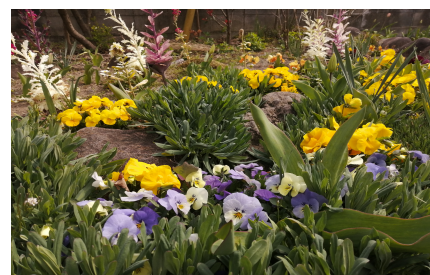
元に戻るまでには、まだまだ時間がかかると思いますが、今後とも、子どもの笑
顔があふれる地域を目指して、スタッフ一同微力ですが活動して参りますのでよろ
しく願いいたします。

理事長 八木澤 秀

まごころありがとうございます

〔寄付金、物品等の支援お礼：順不同〕2020年1月～6月受付分

- ・(有)磯ヶ谷養鶏園様・鈴木内科外科クリニック様・(有)菊地市郎商店様
- ・青木道の駅産直会様・小林ミートショップ様・那須塩原市様
- ・黒磯市場菊地三男様・(有)稲見商店様・那須塩原市社会福祉協議会様
- ・わかば保育園の皆様・社会福祉協議会経由（ZAPP黒磯店様・天鷹酒造様）
- ・菊地彰様・時庭勝彦様・時庭美智子様
- ・岡部松一様・八木澤陽様・佐藤由紀子様
- ・田中克彦様・鈴木千代子様・渡辺純一様
- ・永山桂子様・林 美幸様



♡ 思いを運ぶよ やぎハウス ♡

那須塩原市において、新型コロナウイルスの感染が確認され、学校が休校となりました。どんな支援の形が良いのか...子どもたちの安全を第一に、また今の家庭状況を踏まえた結果、たどり着いたのがお弁当支援。今回はそんなコロナ禍の中で、やぎハウスと子どもたちがどうつながって過ごしたのかご報告したいと思います。

マスクを作ろう！

まずは子どもたちの健康を願い、マスクを作ることになりました。

素材が手に入りにくくなっていましたがスタッフが自宅から探してきたガーゼやさらしを使ってマスクを作りました。スタッフみんながミシンを操れるなんて！！と自画自賛(*´艸`)

年度末に「必要なものはない？」と理事長の呼びかけに、なんとミシン、アイロンの購入をしていました。皆様のまごころのおかげです。



お弁当大作戦！

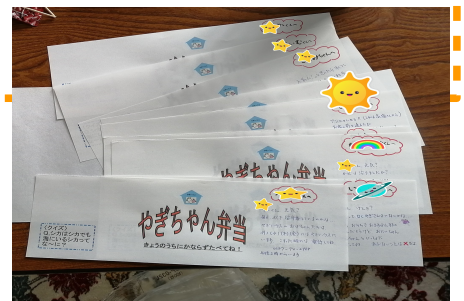
コロナ禍においても、皆様からの食材のご寄付は絶えることなくいただくことができていました。本当に感謝です。毎回のお弁当に使わせていただくとともに、各家庭にもおすそ分け出来ました。

お弁当は「やぎちゃん弁当」と名付けました。そして、子どもたちひとり一人への手紙、学校がお休みの中、少しでも楽しんでもらえたらと、なぞなぞのついた熨斗紙を毎回作ることにしました。

(^_^♪今日のご飯はなあにかな？

お腹いっぱい食べてもらえるようおかずもいっぱいめしました。それぞれの顔を思い出しながら、これくらいは食べるはずと...

から揚げ弁当・ミートボール弁当・コロッケ弁当・ささみフライ弁当・三色そばろ弁当... などなど。毎回違うメインディッシュでした。



子どもたちの様子

お弁当を届けに行くと楽しみに待っていてくれました。「わあ！お肉！」とお肉大好きな子の歓声。おうちの方たちにもいつものやぎハウスのご飯を見ていただく機会にもなりました。

しかし、しばらくお弁当支援が続くと「ねえ、いつからやぎハウスに行けるようになる？」と切ない質問が出るようにもなりました。

休校の間もおうちの方たちは仕事に出かけます。子どもたちだけで留守番する家庭ではどうしても生活リズムが乱れがちでした。昼過ぎにやっと起きる。食べるものはあっても「面倒くさい」と食わずに過ごしてしまう。ネット配信された学習は、ネット環境があっても見ようとする意欲が必要でした。「うちの子痩せてきたかも...」と給食のありがたさを感じた保護者もいらっしゃいました。

6月になり、やっと子どもたちと一緒に過ごすことができるようになりました。体温を測りマスクをつけて過ごします。まだ一緒のテーブルで食事を囲むことはできません。でも同じ空間でたわいもない話で笑いあえる、そんな日常がほんの少し戻ってきたやぎハウスです。